議会報告　6月議会で質問を致しました。

○今回も、質問に対して頂きました答弁の掲載を心掛けてみました。
○詳細は、宇和島市議会のホームページにてどうぞ。発言者の名前や発言内容（単語等）で検索できます。

【1】 5月30日の防災ラジオ及び屋外防災放送された緊急地震速報（予報）について

1．速報発令の経緯について問う
【危機管理課長】本市では、気象庁の緊急地震速報・警報に加えて独自に、高度利用者向けの緊急地震速報を利用して、一般の緊急地震速報よりも早く放送する仕組みを整えている。具体的には、過去の速報で、一般の緊急地震速報に比べて大体3．1秒から最大で11．7秒早く放送されている。5月30日の予報については、小笠原諸島西方沖の深さ682キロで発生したマグニチュード8．1（推定）の地震について、震源から宇和島市までの距離、地震の規模を瞬時に算出し、震度5弱相当の地震が達するという予報に基づいた放送を自動的に行ったもの。（結果的には震度1の揺れ）気象庁は、震度が深い場合には正確な震度予想が難しいとして、警報の発令はなかったので、全国的にテレビ・メール等での配信もなかったが、結果的に関東地方では震度4から5の強い揺れを記録した。
2．今後、運用等の見直しはあるか
【危機管理課長】緊急地震速報の放送内容について、設定の見直しと放送文の追加、修正などを行った。大きな変更点として、猶予時間（カウントダウン）の放送を中止の設定をした。今回のいわゆる深発地震の予報については、南海トラフ付近での発生も懸念されているが、気象庁は正確な震度予想が難しいとしているので、今後の放送については中止を含めて検討をしている。

【2】 仮称　宇和海マラソンについて

1．計画はどこまで進んでいるか
【教育部長】大会の開催時期は、来年3月上旬（後で3月5日と決定）を予定している。旧宇和海中から蒋渕までを往復するマラソンと、同所から遊子の段畑までを往復するウオーキングを種目とすることを計画している。距離にしますと、マラソンが約25キロメートルから26キロメートル（後でハーフマラソンに変更）、ウオーキングが約10キロメートル（後で短縮）。
2．現状で、課題は何か
【教育部長】今後、早い時期に実行委員会を組織（9月30日第1回を開催）して準備を進めると同時に、関係機関への説明や協力依頼を行い、地域を挙げて盛り上がるイベントとなるよう理解を得たい、事故のない盛大な大会ができることに努めたい。

【3】 宇和島の少子化対策を問う

1．少子化の主因をどう分析するか
【総務部長】最も大きな原因として、地域経済の低迷があろうかと考えている。
【質問】経済の問題、その原因の重要度はどの程度と分析しているか。総務部長。
【総務部長】細かい分析はしていない。
【質問】誰が分析しているのか。
【総務部長】現在、契約が終わったばかりであるが、コンサルタントのほうで分析するテーマの1つになると考える。
2．その対策は
【質問】地方創生のお金が来るから、少子化対策が始まるというものではないが、その点いかがか。
【総務部長】我々が、人口減少に対して非常に危機感を持ち、どう取り組むか全庁的な意識啓発というか、市長から特にこだわった指示が出たのは昨年の年末であると考える。それまで、いわゆる一般的な現象として宇和島の人口が減り続けていることは全員が認識はしていたが、その意味・重要性等に、改めて腰を据えて考えることに至ったのは昨年の年末である。
【質問】地方創生のきっかけに、うまく国から事業費を引つ張ってはと思うが、経済面以外に少子化の原因の分析は出来ているか。
【保健福祉部長】我々も去年からいろいろ検討しているが、宇和島が県内の子育てに至ってない部分もある、そういったところをまず埋めていきながら、他によりよいもっと宇和島らしさが出るものをつけ加えたい。また、出会い・結婚・妊娠・出産・育児・幼児教育・教育支援といった流れの中で教育委員会と保健福祉部の相乗的事業の実施を検討している。
3．市に関連する職員の育児休暇はどう利用されているか
4．子育て中の職員等にどんな配慮がされているか

【4】 宇和島の教育について

1．宇和島市立小中学校の児童生徒の学力が全国・県平均と比較して低い原因は何か
【教育長】学力が定着しない教育の特徴として、①教師や友達の話が静かに聞けない。②子供の考える時間を意識した授業が十分に行われていないこと。③家庭を巻き込んだ家庭学習の習慣が確立していない。④授業研究を中心とした校内研修が十分でない。⑤補充学習が定期的に行われていない。これらが学校教育の中では原因ではなかろうかと思う。そのほか、学校以外でも原因はあると思う。
2．昨年の学力テストの結果公表を受け、後の努力はどう行われたか問う
【教育長】学力向上システム構築事業の指定を受け、校区の城北中学校区を中心とし、研究したことを市内の全ての学校に広げる研修を重ねている。言語活動、話すこと、聞くこと、読むこと、これらを充実させた授業改善による質の向上、「小学校と小学校」や「小学校と中学校」の連携も大変大事であると考え連携を重視している。また、学校の教育力向上推進委員会を組織して、全国学力学習状況調査や県の学力診断調査等を分析した上で、26年度は学力向上プランを作成して各学校の周知徹底を図っている。この分析の中で、学力が定着している学校の特徴として、図書館の利用の機会が多い、2つ目に基本的な生活習慣が身についている、3つ目が授業で子供たちが発言する機会が多い、4番で家庭での約束が守られている等があり、頑張っている。H26年度は、学力の2極化対応を意識した授業改善や補充学習を学校評価項目に加えるなどの統一的な課題対応を行い、27年度はさらに校内研修を進め、従来の取り組みに加え、活用問題の研究を全教職員で行い、自作問題の作成、実施などしている。
3．宇和島の教育をどうする
【質問】青少年健全育成の条例をつくるよう提案をしていたが。
【教育長】反抗的な子供たちを特別教室に入れて授業をする制度、昨年まではやっていたが、ほぼ落ち着いてきたので、本年度はどの中学校もそれはやっていない。徐々にだが、静かになってきたのではなかろうかと認識している。
4．部活動はどう扱うべきか
5．教科書はどう決める

【5】 戦後日本の平和は憲法9条のおかげか

1．相手には守ってもらうのに、自分は相手を守らないというのを卑怯というのではないか
2．安保法制の先には、徴兵制があると考えるか

☆質問・答弁について、紙面の都合でかなり省略しています。　詳細はホームページ上に公開されている議事録をご確認ください。大きく内容を変えてはおりませんが、文責は武田にございます。

【プロフィール】

宇和島市恵美須町生まれ（54歳）
天神小学校　卒業
宇和島市和霊町へ転居
城北中学校・宇和島東高・岡山大学 卒業
㈱加ト吉勤務後、宇和島漬物食品㈱ 入社
宇和島市大浦へ転居
宇和島市栄町港に転居

【趣味】マラソン・トライアスロン
家事・育児・読書

Ⓐ ダテな美術館

Ⓑ お城まつり

Ⓒ トキワバイカツツジ観察会

Ⓓ 四万十リバー知事

Ⓔ 大浦牛鬼

街頭活動

あなたも「武田元介ニュースレター 黎明」の読者登録しませんか？～他人事でなく自分事～

読者登録していただきますと、「武田元介ニュースレター 黎明」を毎号（年4回の予定）お届けいたします。是非、下記までお申し込みください。

メール m_takeda@motosuke.net
FAX 0895-24-5610

皆さんの声を聞かせてください

ミニ集会・座談会お申し込み、少ない人数でもかまいません。武田元介が伺わせていただきます。

皆様で自主開催されるミニ集会や座談会に是非参加させていただけたらと思います。［ママ友が集まる会・ご近所やスポーツ仲間が集まる会］など、どんな会でもかまいません。是非伺わせていただいてお話お聞かせ下さい。

facebook　ブログの更新やツイートのまとめなど、いろんな情報を発信しています。
twitter　時々つぶやいています。フォローお願いします。　@TakedaMotosuke
政策発信　http://motosuketrd.blog.fc2.com/